

翻刻

本居宣長記念館所蔵・小津桂窓宛書簡(五)

菱岡憲司

5 野呂九介(一五)

(端裏)「寅二月十八日出」

去月者華翰被下、辱拜見仕候。其節ハ俗事空湧、乍存失敬御報も不申上候。爾
来次第春暖相増し候処、益御清祥被為在候。欣抔之至奉敬寿候。次寓居無事瓦
全仕候。乍憚御省念可成下候。当年ハ存外陽和早ク催而、当地も少々花之発初
メ申候様子ニ御座候得共、今以取紛レ、他出も得不仕候。先便被仰聞候通、少々
世ニ立雜り、生徒之世話等、繁相成候而者、彼是ニ差支候事共罷在候。何分一
世を相済し候事六ヶ敷事、十二八九ハ不如意下年升子嘆慨益存候。当方最早、
日晚鐘鳴候下申程之齡ニも相成候得者、余生を誤り不申候様仕度、是而已心掛
ニ奉存候。余り失敬相成候故、幸便ニ時下伺度、如此御座候。余ハ後音可申聲
候。恐惶謹言

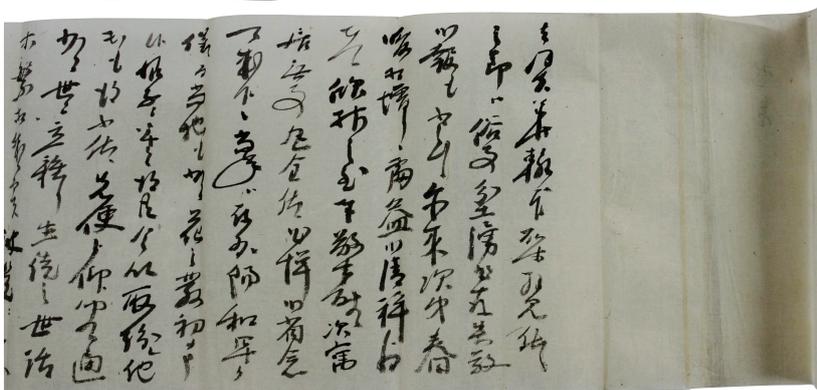
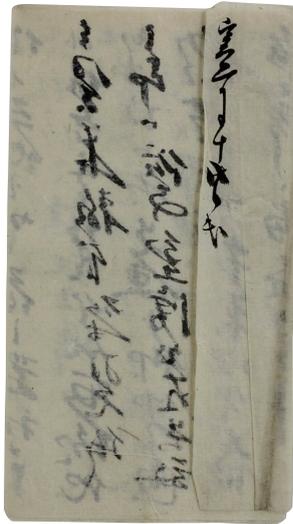
二月十八日認

野呂九介

小津新蔵様

二白、江都も追々御新政、凡俗御振起之思召下相聞候。誠ニ難有仕合、老
後之大慶奉存候。併何分世界頽靡、物価等も何ニ不寄騰躍、一体之困窮、
輦下ハ固り淋敷処ニ御座候処、益衰微之様子ニて、唯御新政之早ク施之敷
候倅ニ、人情智愚同一意下相見申候。以上

十寅二月十八日 天保十三年(一八四二)二月十八日。



十野呂九介 野呂松廬。漢学者。寛政三年(一七九二)生、天保十四年(一八四三)
六月二十三日没、五十三歳。名は隆訓、字は式夫・翼卿、通称は九介、松廬
と号す。詳細は「本居宣長記念館所蔵・小津桂窓宛書簡集(四)」(山口県立大
学学術情報)一一、二〇一八・二。以下、
「書簡(四)」等と略参照のこと。

候。右ハ邦学を少々相弁候儀ニ無御座候而者、難届候儀も御座候得共、專国学を仕候人ハ、詩之事ニ達候人無御座候。僻陋にてハ示候人も無御座。其俣打捨置候中ニ、頼山陽『日本楽府』ト申者出候故、於々世ニ示候も恥敷、敗笈之底蠢朽仕罷在候。右も賤息共申付、相写も御慰ニ御高評奉乞度候得共、新七様御発足相迫り候故、是亦青田抄差出候節、御覽願置候。田谷ト申者、十九反詩を集候中ニ、一首丈載置候。白馬跳ト申、則其中詩にて、大抵右之体ニ作り、埒も無之処ニ御座候。先ハ差而可申上候儀も無御座候得共、奉酬貴問度、勿々如斯御座候。余ハ尋後音可申上候。恐惶謹言

仲秋旬二

桂窓小津賢兄

梧右

野呂隆訓拜

二白、御微疫流行仕候条、次第冷氣ニも相成候間、時下折角御自主所祈候。当年ハ初夏以後、近年不覺暑氣、一統憊困仕候。乍併時運復旧候而、天下尽豊作之由、民心甚穩相成候条、御同慶奉賀候。寓地ハ當時にてハ、先流行病も無御座候。只唯暑毒相滯候段、痛風体之病人少々御座候而、先以静ナル世界ト相見申候。

十亥七月十二日 天保十年(一八三九)七月十二日。

十丹州行之御壯遊 天保十年三月二十六日から五月十五日にかけて、桂窓は熊

野路・湯浅村(紀伊)・和歌山・大坂・京・天橋立を巡る(浜木綿日記)。

十松南子 摩島松南。京の漢学者。寛政三年(一七九二)三月十一日生、天保十

年(一八三九)四月二十九日没、四十九歳。松南には「書簡(一〜三)」でも言

及する。

十明青田先生 劉基。元末明初の政治家・詩人。至大四年(一三一三)生、洪武

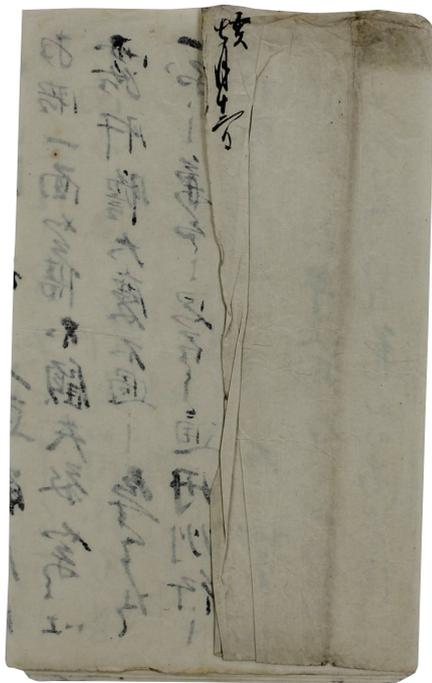
八年(一三七五)没、六十五歳。字は伯温。浙江省青田の人。

十元遺山 金末元初の詩人。明昌元年(一一九〇)生、蒙哥七年(一二五七)没、

六十八歳。名は好問、字は裕之、遺山と号す。

十溪琴山人 菊池溪琴。豪商・漢詩人。寛政十一年(一七九九)生、明治十四年

(一八八一)一月十六日没、八十三歳。名は保定、字は土固、溪琴・海莊と号す。紀伊有田の人。大佛詩仏に学ぶ。編著に『遺山先生詩鈔』(天保七年刊)あり。十楊鉄崖 楊維楨。元末明初の詩人。元貞二年(一二九六)生、洪武三年(一三七〇)没、七十五歳。名は維楨、字は廉夫、鉄崖と号す。浙江省諸暨の人。主著に『鉄崖先生古楽府』十卷あり。十頼山陽 漢詩人。安永九年(一七八〇)十二月二十七日生、天保三年(一八三二)九月二十三日没、五十三歳。名は襄、字は子成、通称は久太郎、山陽と号す。十『日本楽府』漢詩集。一卷一冊。文政十一年(一八二八)成、同十三年刊。十新七様 四代小津新七。名は好賢。文化八年(一八一二)二月五日生。新七家は小津与右衛門家の分家。



Reprinting Notes of letter to Ozu Keiso owned by Motoori Norinaga Memorial Hall. No.5

HISHIOKA Kenji (Japanese culture)

Reprinting Notes of letter to Ozu Keiso(A merchant of Edo period) owned by Motoori Norinaga
Memorial Hall. No.5